

基本的な考え方

- 令和6年度は、コロナ禍後初めての通年予算編成であり、顕在化している課題や社会経済情勢の変化への対応はもとより、日本・世界における本道の役割の重要性を踏まえたコロナ禍後の社会を見据えた取組を進める
- 他方、道財政は、令和以降で最大の収支不足額となる見通しにあるなど、引き続き厳しい財政状況であり、財政の健全化に切れ目なく取り組む

予算編成のポイント

- 「重点政策の検討方針」に基づく優先度の高い施策に、限りある資源を効果的・効率的に配分
- 施策や事務事業の徹底した精査や、スクラップ・アンド・ビルドなどの「歳出の削減・効率化」に取り組む
- 施策間連携や横断的事業の推進、市町村や民間との連携・協働による事業の構築を行う

北海道の魅力やポテンシャルを道外、世界に展開するとともに、地域が躍動する政策を推進し、さらに前へ進めていく

今後の編成日程

- 11月27日
「重点政策検討方針」決定
「予算編成方針」決定
- 1月中旬
総務部長調整
- 2月上旬
知事査定
- 2月中旬
予算発表